



令和6年度 オンライン研究会 —オンデマンド配信—

## ともに世界に意味を創り出す教育をデザインする

—「記録」の意味を再構築する—

わたしたちはなぜ「記録」を書くのか。

権利主体として今を生きる子どもと、子どもを取り巻くわたしたちがともに「実践」を創る過程で、わたしたちはこれまでに何を思い、今何を感じ、どのように未来を描こうとしているのでしょうか。

1月18日のオンライン研究会では、書くことの意味を問いながら重ねてきた「実践」を報告させていただき、参加いただいた方々との語り合いを通して「記録」の意味を再構築していきました。

ここでは報告について配信をいたします。

**【動画視聴】** 3月31日（月）までの配信となります。

### 研究概要

<https://youtu.be/X7NI9VWr8sk>



### 実践報告①「ともにある」営みをえがこうとする

—「ともに」を問いながら往還する実践と理念—

<https://youtu.be/Nt8DaiY-0k4>



### 実践報告② 教師としての「わたし」を支える記録

<https://youtu.be/j2e36r50eeQ>



### 実践報告③ 記録と対話の往還

—自らの実践を問い直すために—

<https://youtu.be/8SNF7FpWURw>



ご意見、ご感想をお願いいたします。

ふりかえりフォームはこちらから↓

<https://forms.gle/2GyysLfdnu7pc2jH6>



主催



奈良県奈良市学園北 1-16-14

0742-45-7261

後援

奈良県教育委員会

奈良市 奈良市教育委員会

奈良国立大学機構連携教育開発センター

奈良女子大学教育システム研究開発センター